

# 支持政党なし TOKYO

良識ある保守主義・情報公開  
若い世代の育成に全力をささげる

都民代表:吉田つとむ(町田市議)

<編集発行>

支持政党なし TOKYO  
〒194-0011 町田市  
成瀬が丘 1-14-12  
サンホワイト E103-13  
自宅 042-795-7361  
FAX 042-795-2726  
yoshidaben@gmail.com



インターンシップ好評  
若者育成・就業支援

## オリンピックは無観客試合も有りと言う

東京オリンピックは、コロナ感染の脅威が去らない中で開催準備が進められていますが、すでに国外の外国人の観客は呼ばない話は現実化しているようです。



今回は、そうした規制をさらに拡大して、オリンピック会場の入場者を半分にすると、それでも足りないなら、完全に無観客にして、とにかく、オリンピック・パラリンピックの開催にこぎつけようという発想が次々の考案されています。

これには、観客入場者数で先行するものがあり、プロ野球、あるいはサッカーJリーグの試合開催のスタイルが下敷きにされると思います。入場者を半数にする、あるいは無観客試合に徹するなど、規制の在り方が検討される半面、すでにチケットの販売手配が進んだものをどうするかが大きな課題でしょう。→大量のチケットの払い戻しが行われる。

他方で、オープン競技のマラソンの観戦では、今年の箱根マラソンの応援スタイルが、踏襲されるのでないでしょうか。どういう方法が取られようと、コロナ感染リスクと隣合わせの一大スポーツイベントになるでしょう。

## コロナワクチン接種は若い人を先行すべき

コロナワクチンの接種は、この3月段階でまず医療従事者から始まりました。これは、いつコロナ感染に陥るかもしれないという環境の中で働く人を、より優先してワクチン接種をすることは当然のこととされます。そのことは、国民の誰しも理解を得ているものでしょう。

次は、全国で高齢者に接種する計画が進んでいます。町田市も同様で、4月にはまず65歳以上の高齢者を対象に接種を開始する予定とされています。国の供給と情報をもとに、各自治体では、接種会場の手配をしていることを公表しています。それらのワクチン接種が一巡した後で一般の人まで含めた接種が開始される計画となっています。

本来は、一般の人の中で、毎日、大勢の人と接する仕事に従事している人を優先して接種対象に割り当てることが、社会を支える職業の人々をそれぞれの部署で安心して働いていただくことにつながり、コロナ感染の蔓延を防止することになると思っています。



★「支持政党なし TOKYO」は、支持政党を持たない、持ちたくない人の意見を代弁します。  
★「良識ある保守主義」は、権威を否定し、柔軟い思考にもとづいて議論をする立場です。

# 支持政党なし TOKYO

良識ある保守主義・情報公開  
若い世代の育成に全力をささげる  
都民代表:吉田つとむ(町田市議)



ブログ 個人HP



メールは  
左記を読み  
込んで送信



インターン生募集中  
社会見学・体験勉強

## 「支持政党なし」の説明③

報道機関の世論調査で、国民に対して、「あなたの支持政党はどこですか」と尋ねると、一番多いのは自民党と思われる人が多いようです。しかし、直近のNHKの世論調査(3月)では、個別政党の中で自民党が一番に高い支持率で35.6%となっていますが、現実にもっと多くの人が選んでいるのは、「支持政党なし」が第一位であり、その比率は40.1%に達しています。

他の主要メディアの世論調査では、その「支持政党なし」と答えた人の比率がもっと多くなっています。今後、国会の審議や、内閣の記者会見をめぐって、きちんと答えられない状況が続くと、政府や政権政党の自民党がさらに支持率を下げる可能性があります。しかし、それで立憲民主党などの野党が支持率を増やすかと言えば、そうした政党の乗り換えが起きるのではなく、単に、「支持政党なし」が増えるだけでしょう。その理由は簡単で、現在の野党に自民党を超える期待を持つ人がほとんどいないためであり、むしろ、国民の「支持政党なし」をそのまま反映する政治選択を図る方法を提示するのが、これからの政治家の在り方だと考えています。



## インターン生がマスクをかける

この間の吉田つとむのインターンシップでは、参加学生に対して、いかに研修現場を確保しつつ、コロナ感染の可能性から遠ざけるかを優先させてきました。

もとより、インターン研修の全てのプログラムをオンラインで実行すれば、インターンシップ中に、コロナ感染リスクから遠ざけることが可能でしょうが、それでは「内在的な体験」=インターンシップの精神にそぐわないと考えてきました。2020年春季の第35期生、そして2020年夏季のインターンシップ、そして第35期生が参加した2021年春季において、最新の注意を払い、様々の現場に出向き、無事にその期間を終えました。対応していただいた様々の方々に感謝をしています。



- ★ 吉田つとむのインターンシップは1998年に開始、多数の体験者が実社会で活躍中。
- ★ インターン生に政治活動の参加は一切求めず、あくまで社会勉強・見学のメニューです。
- 昨年春以降の研修では、特別の記念撮影を除いて、行動中は全てマスクをかけています。